

# 平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	農業振興対策事業			会計	款	項	目	大	小
				01	06	01	03	03	02
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	農業振興課				
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	園芸農作物（野菜類）	意図	気象等の外的要因に左右されることなく、安定的で効率的な生産が維持・推進されるようになる。
事業内容	長期安定生産ができるよう、園芸作物生産者に対してビニールハウス等の施設整備や効率化機械の導入を推進する。			
事業開始から現在までの状況変化	本事業の実施により、露地栽培中心の生産体制にハウス栽培が加わるようになり、生産者においては安定的な生産手段としてビニールハウスが有効という認識が定着している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	高生産推進事業の対象となった施設の数	33	29	31	基	↑↑↑
②	主要共撰4品目売上額	100,158	104,861	95,642	千円	→→	JA出荷分アサダ、アサダ、ホレンソウ、エダマメの売上額
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	安定的な生産の持続・施設栽培の有効性の認知度の向上						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度	◆市が助成金を交付する先は、各種生産組合となっている。 ◆指標に共撰4品目の売上額を設定しているが、作物の品質や供給量は市場の動向に左右されるものである。 ◆ビニールハウスの新設と生産額（所得）向上の相関関係が分かるようなデータの把握ができていない。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	9,213,437	9,836,614	9,748,256				
事業費(b)(円)	7,140,437	7,577,614	7,688,756				
うち一般財源	7,064,879	7,509,994	7,612,512				
職員給与費(c)(円)	2,073,000	2,259,000	2,059,500				
人役・職員(人)	0.30	0.30	0.30				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	年1回実施している廃プラの回収について、回数が適切であるか、検討をする。	③取組の課題	農業者の市の農業政策や補助金等に対する意見や要望の把握
②今年度(H28)に実施した取組	年1回実施している廃プラの回収について、農業協同組合や各関係機関と協議し、次年度は年2回実施する計画となった。	④今後の改善計画	各関係機関の会議や現場で、農業者の意見や要望を把握するよう努める。